

# 「立山黒部」の保全と利用を考える検討会

## 第2回検討会資料

平成29年1月13日

富 山 県

観光・地域振興局  
生活環境文化部

# 1. 本検討会の趣旨

- 「立山黒部」は、日本でも類を見ない自然環境が存在する山岳地として、自然環境の保全活動が先進的に行われるとともに、利用の面においても国内外から多くの観光客が訪れる観光地としてその地位を確立してきた。
- しかし、訪日外国人の増加や個人旅行客の増加、北陸新幹線による首都圏とのアクセスの劇的な改善等、「立山黒部」を取り巻く環境は大きく変化している。このような変化を適切に把握し、柔軟かつ迅速に対応していくことが、これからも「選ばれる観光地」であるための条件である。
- 特に、「立山黒部」を世界遺産に登録する動きがあり、また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて訪日外国人のさらなる増加が見込まれている。
- こうした国内外からさらに多くの観光客が訪れる日が来た場合、その観光客に満足していただける観光地となっているのかを今一度考える必要があるのではないか。
- そのため、日本はもとより、世界中の人々に「行ってみたい」と思ってもらえる観光地となるよう、「立山黒部」の現状を今一度把握し、「世界ブランド」としてさらなる高みを目指すための方策を検討することとしたい。
- なお、検討にあたっては、「立山黒部」は国立公園内に位置し、自然環境の豊かさが魅力の中心であることから、単に観光地としての開発のみを考えるのではなく、適切な自然環境の保全を行うことを前提に検討することとしたい。

1. 本検討会の趣旨

**2. 課題・論点整理**

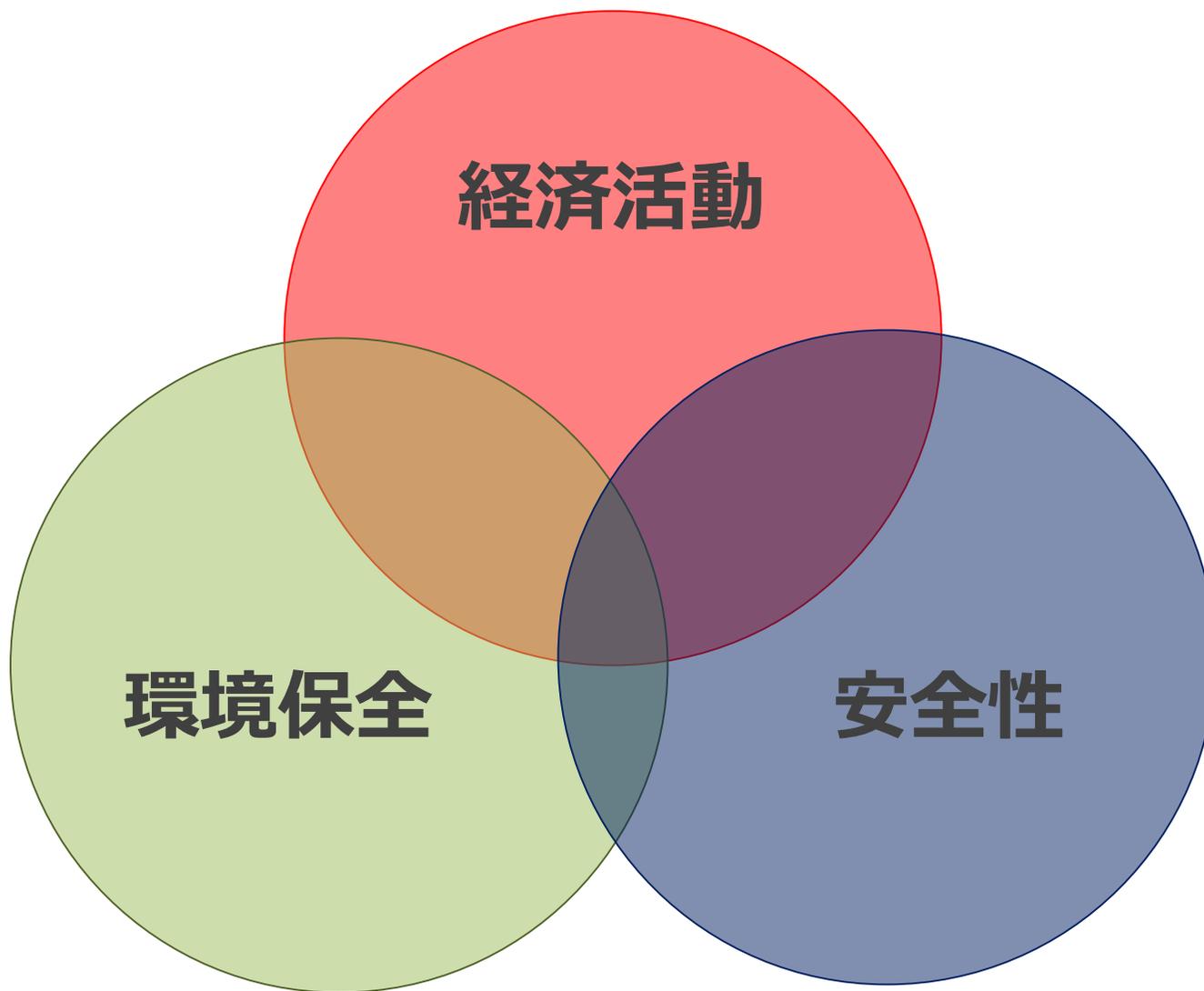
3. 課題解決に向けた方針の検討

(1) 課題論点×プロジェクト

(2) 主な構想

(3) プロジェクト詳細（別冊）

4. 今後のスケジュール



## 2. 課題・論点整理 (2) 前回、提示いただいた課題

経済活動	① 上質な滞在環境の整備	混雑対応
		滞在環境の充実
	② 新しい魅力の発掘・磨き上げ	通年営業
		新しい魅力の発掘・磨き上げ
	③ 顧客層にあわせた受入環境の整備	新規市場の開拓・個人旅行者への対応
		ユニバーサルデザイン
		散策ルート of 整備
	④ 周遊性の確保	周遊ルートの確保
エリア内周遊の促進		
環境保全	⑤ 環境保全の推進	自然環境の適正利用
		自然環境の保全
		ライチョウの保全
安全性	⑥ 安全対策	利用者の安全確保

1. 本検討会の趣旨
2. 課題・論点整理
- 3. 課題解決に向けた方針の検討**
  - (1) プロジェクト一覧
  - (2) 主な構想
  - (3) プロジェクト詳細（別冊）
4. 今後のスケジュール

**次頁からの各プロジェクトについては、  
委員、その他関係者をヒアリングし、  
ご提案いただいたアイデアを掲載したものであり、  
現時点での県の考えを示すものではありません。**

# 3. 課題解決に向けた方針の検討 (1) プロジェクト一覧

## ① 上質な滞在環境の整備

### 論点・課題

#### ● 混雑対応

○アルペンルートでは、雪の大谷(特にGW)、夏休みに混雑発生(混雑による満足度の低下)



「山の日」の立山駅(H28.8)



平日の室堂ターミナル(H28.9)

#### ● 滞在環境の充実

○県内での滞在時間や消費金額は全国に比べてやや低い



山岳リゾート (スイスツェルマツト)  
(出所)スイス・ツェルマツト観光局 HP



野鳥の森ネイチャーウォッチング  
(出所)ピッキオ HP

### プロジェクト(案)

<混雑時の柔軟な対応>

#### 01 混雑スポットにおける食事・休憩スペース拡充

休憩場所等を確保し、混雑緩和や滞在の満足度の向上を図る。

<混雑緩和>

#### 02 アルペンルートの営業時間拡大

主に日帰り利用者を対象に、アルペンルートの営業時間を拡大。併せて魅力ある滞在プログラムを実施することで、ピークの平準化や滞在時間の延長を図り、混雑期でも高いクオリティを維持する。

#### 03 乗車整理券の配布

混雑時に乗車整理券を配布し、行列に並ぶ待ち時間を無くす。順番は、各所に配置したサイネージやスマホで通知する。

#### 04 高原バス等のWEB予約システム

チケット購入時の混雑緩和、現地での柔軟な滞在を可能にする。

<ボトルネックの解消>

#### 11 立山～弥陀ヶ原ロープウェイ(後掲)

#### 05 宿泊施設の整備

ホテル誘致・改築等により宿泊施設のクオリティアップを目指す。

#### 06 滞在プログラムの充実

立山黒部をフィールドにした着地型ツアー(エコツーリズム、キャニオニング等)を支援し、滞在プログラムの充実を図る。

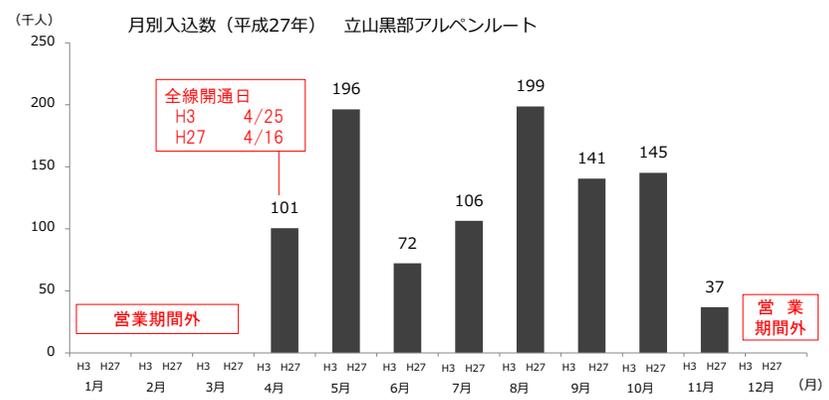
# 3. 課題解決に向けた方針の検討 (1) プロジェクト一覧

## ② 新しい魅力の発掘・磨き上げ

### 論点・課題

#### ● 通年営業

○アルペンルート、黒部峡谷鉄道の営業期間が限られ、冬季は営業していない。



#### ● 新しい魅力の発掘・磨き上げ

○6～7月、冬季の誘客が課題  
○強みを活かした素材の商品化(自然、産業、信仰)



キャニオニング



立山カルデラ(鷲山の崩れ跡)

### プロジェクト(案)

#### 07 アルペンルートの早期開業

安全性の向上・環境負荷の軽減を図りながら、関係者の合意を得て、春の早期開業を進める。

< 冬季営業 >

#### 08 アルペンルート冬季営業の試験的実施

冬季の安全を確保し、扇沢～室堂・天狗平区間の冬季営業を試験的に実施

#### 09 黒部峡谷鉄道の冬季営業

冬季の安全を確保し、一部区間の冬季営業を実現

17 立山～弥陀ヶ原ロープウェイ(後掲)

< 自然素材の商品化 >

#### 10 ヘリスキーの企画・実施

プロによる安全管理のもと、世界の山岳スキーヤーを対象にした上級者向けヘリスキーを企画実施

17 立山～弥陀ヶ原ロープウェイ(後掲)

< 産業観光の商品化 >

#### 11 黒部ルート見学会の旅行商品化

電源開発の歴史を学ぶ黒部ルート見学会の商品化

#### 12 カルデラ体験学習会の旅行商品化

立山カルデラや砂防の歴史を学ぶカルデラ体験学習会の商品化

18 立山カルデラロープウェイ(後掲)

# 3. 課題解決に向けた方針の検討 (1) プロジェクト一覧

## ③ 顧客層に合わせた受入環境の整備

### 論点・課題

#### ● 新規市場の開拓・個人旅行者への対応

- 欧米豪等での認知度向上
- 個人旅行者の増加に対応した利便性向上



山岳スキー

#### ● ユニバーサルデザイン



称名滝までの坂道



アルペンルートケーブルカー乗り場

#### ● 散策ルート整備

- 歩くアルペンルートの整備
- 老朽化した散策ルートの更新



弥陀ヶ原のハイキング

### プロジェクト(案)

< 訪日・個人旅行者対応 >

#### 13 新しいマーケット(欧米豪等)の開拓

欧米豪等のマーケットに影響力のあるメディア等と連携し、立山黒部の魅力を提案

#### 14 多言語表記・案内の充実

訪日旅行者向けの多言語表記、ユーザビリティの高い情報提供

#### 15 携帯電話不通エリア、WiFi未整備エリアの解消

通信環境を整え、訪日旅行者・個人旅行者に対して携帯での観光情報を提供。緊急時・災害時のライフラインとしても整備が必要。

03 乗車整理券の配布(再掲)

04 高原バス等のWEB予約システム(再掲)

< 山岳スキーの実現 >

10 ヘリスキーの企画・実施(再掲)

#### 16 ユニバーサルサービスの推進

子どもやシニアなど、幅広い層にとって気軽に楽しめる観光地へ

< 散策ルートの整備 >

21 登山道の整備(後掲)

23 山岳トイレの整備(後掲)

# 3. 課題解決に向けた方針の検討 (1) プロジェクト一覧

## ④ 周遊性の確保

### 論点・課題

#### ● 周遊ルートの確保

- アルペンルート、黒部峡谷、立山カルデラは、それぞれ特有の魅力を有するが、周遊することができない（同じルートの往復となりがちで、復路の満足度が低下）



弥陀ヶ原



室堂



黒部峡谷



有峰



立山カルデラ

#### ● エリア内周遊の促進

- 立山山麓は、魅力的な観光素材を有するが、認知度向上やアクセス改善が課題
- 宇奈月駅に多くの観光バスが乗り入れるが、温泉街との周遊促進が課題

### プロジェクト(案)

＜強みを活かした新ルート、点在する素材をつなぐ新ルートの開発＞

#### 17 立山～弥陀ヶ原ロープウェイ

輸送力が限られる原因となっている立山駅でのボトルネックを解消するだけでなく、称名滝や弥陀ヶ原の雄大な景観を楽しめる新たな観光ルートを創出

#### 18 立山カルデラロープウェイ

「世界遺産」を目指す立山砂防を間近で楽しめる観光ルートを新たに開発するとともに、現在繋がっていない立山と有峰を結ぶ新たな周遊ルートを創出

#### 19 黒部峡谷ロープウェイ

現在繋がっていない「立山」と「黒部・宇奈月」を結び、周遊ルートを作ること、新たな観光需要を創出

11 黒部ルート見学会の旅行商品化(再掲)

12 カルデラ体験学習会の旅行商品化(再掲)

＜立山山麓＞

16 ユニバーサルサービスの推進(称名滝 電気バス運行)  
(再掲)

＜宇奈月温泉＞

#### 20 宇奈月温泉街の賑わい創出

昼・夜、季節を問わずまち歩きを楽しめる温泉街となるため、魅力あるスポットの整備や、賑わいを創出

# 3. 課題解決に向けた方針の検討 (1) プロジェクト一覧

## ⑤ 環境保全の推進

### 論点・課題

#### ● 自然環境の適正利用

#### ● 自然環境の保全



立山高原ホテル下部斜面に侵入したシロツメクサ

#### ● ライチョウの保全



積雪期のライチョウ

### プロジェクト(案)

#### 21 登山道の整備

案内看板の多言語表記や、老朽化した登山道の整備を行い、適正な利用を促すとともに利用者の安全を確保する。

#### 22 環境意識の啓発

訪日外国人等にとっても広く理解しやすい普及啓発を行い、環境意識の醸成、自発的な取り組みを推進する。

#### < 保全の推進 >

#### 23 山岳トイレの整備

登山者を対象にした洋式・環境配慮型・高床式トイレの整備

#### 24 外来植物除去活動の推進

外来植物の除去を推進するため、高齢化が問題になっているボランティアの新たな担い手の獲得等を進める。

#### 25 利用調整地区の導入の検討

環境保全と適切な利用を両立させるため、弥陀ヶ原湿原などについて、利用調整地区の導入を検討する。

#### < 保全活動を維持する仕組み >

#### 26 環境保全経費の受益者負担の在り方の検討

持続可能な利用をするために、保全活動に係る経費の受益者負担の在り方を検討する。

#### 27 とやまのライチョウサポート強化

本県を含む全国のライチョウサポーターが交流する機会を設け、富山型のライチョウ保護対策を全国に広める。

#### 27 ライチョウ生息状況調査

ライチョウの生息数の変化を早期に発見・対応するため、生息数調査等を継続する。

# 3. 課題解決に向けた方針の検討 (1) プロジェクト一覧

## ⑥ 安全対策

### 論点・課題

#### ●利用者の安全確保

##### 【雪崩対策】

○立山室堂周辺では、積雪期に山岳スキーや冬山登山を目的に多くの登山者、スキーヤーが訪れる。  
○近年6件の雪崩死亡事故(12名死亡)が発生しており、入山者の安全に対する対策改革が必要。



平成25年11月23日  
真砂岳で発生した雪崩

##### 【火山対策】

○弥陀ヶ原(地獄谷)は、噴気活動の活発化・拡大に伴い常時観測火山に追加されたことから、万が一に備えて、観光客や登山者の更なる安全対策が必要



平成28年10月20日 弥陀ヶ原火山

### プロジェクト(案)

<利用者の安全確保>

21 登山道の整備(再掲)

25 利用調整地区の導入の検討(再掲)

<安全確保のための情報提供の充実>

#### 28 雪崩事故対策

近年、雪崩死亡事故が発生しているため、現地の情報提供を行う入山指導員を増員するなど安全対策の強化を行う。

<情報伝達手段の整備>

15 携帯電話不通エリア、WiFi未整備エリアの解消(再掲)

1. 本検討会の趣旨

2. 課題・論点整理

**3. 課題解決に向けた方針の検討**

(1) プロジェクト一覧

**(2) 主な構想**

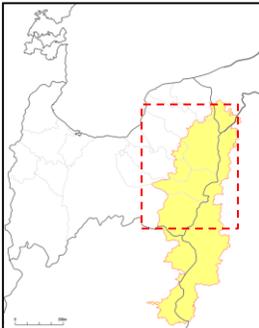
(3) プロジェクト詳細（別冊）

4. 今後のスケジュール

# 3. 課題解決に向けた方針の検討 (2) 主な構想 I

## 広域周遊ルート整備構想

現在の立山～大町(長野)に加え、立山と黒部、立山カルデラを結び、3地域(立山・黒部・有峰)をダイナミックに周遊できるルートの構築を目指す。



宇奈月温泉

宇奈月駅

黒薙

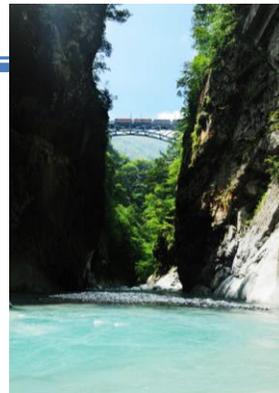
黒部峡谷鉄道

鐘釣

樺平



黒部峡谷(新山彦橋)



黒部峡谷(後曳橋)

## 17 立山～弥陀ヶ原ロープウェイ



称名滝



弥陀ヶ原

## 19 黒部峡谷ロープウェイ



室堂

関西電力黒部ルート

立山駅

称名滝

室堂

黒部ダム

扇沢

砂防工事専用ルート

立山温泉跡

立山カルデラ

有峰

有峰林道

## 18 立山カルデラロープウェイ



有峰

有峰ダム



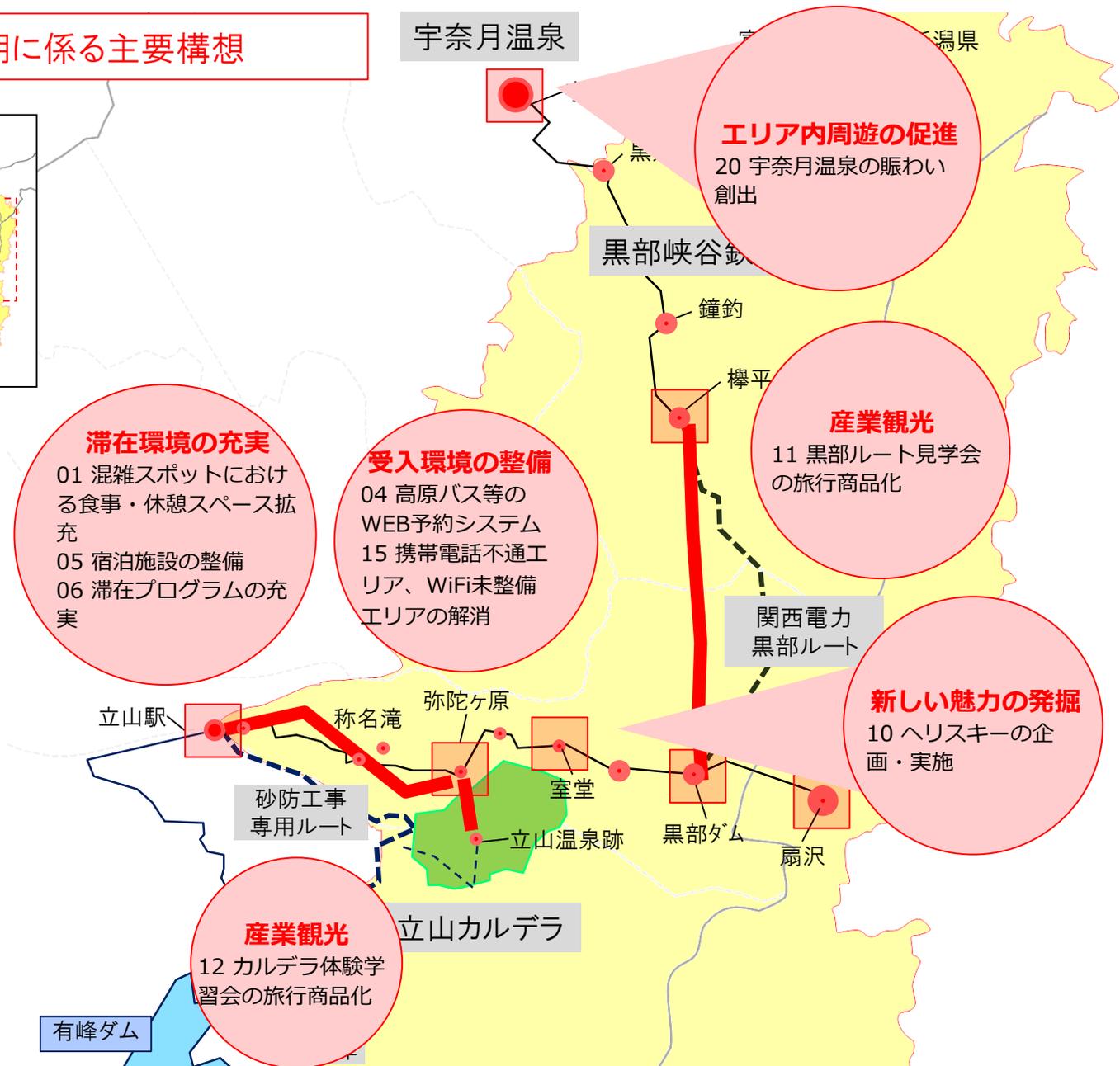
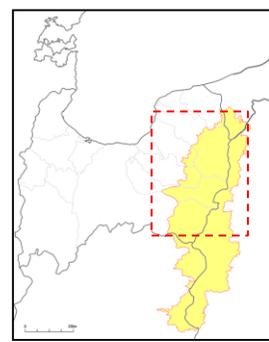
立山カルデラ



黒部ダム

### 3. 課題解決に向けた方針の検討 (2) 主な構想Ⅱ

利用に係る主要構想



**エリア内周遊の促進**  
20 宇奈月温泉の賑わい創出

**産業観光**  
11 黒部ルート見学会の旅行商品化

**新しい魅力の発掘**  
10 ヘリスキーの企画・実施

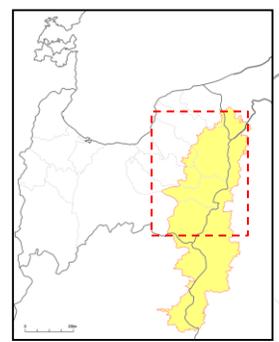
**滞在環境の充実**  
01 混雑スポットにおける食事・休憩スペース拡充  
05 宿泊施設の整備  
06 滞在プログラムの充実

**受入環境の整備**  
04 高原バス等のWEB予約システム  
15 携帯電話不通エリア、WiFi未整備エリアの解消

**産業観光**  
12 カルデラ体験学習会の旅行商品化

# 3. 課題解決に向けた方針の検討 (2) 主な構想Ⅲ

## 環境保全・安全対策に係る主要構想



# 目次

---

1. 本検討会の趣旨
2. 課題・論点整理
3. 課題解決に向けた方針の検討
  - (1) プロジェクト一覧
  - (2) 主な構想
  - (3) プロジェクト詳細（別冊）
- 4. 今後のスケジュール**

## 4. 今後のスケジュール

- 本検討会の今後のスケジュールは、以下のとおり

11月13日

### 第1回検討会

- 立山黒部の現状と課題の検討
- 意見交換

1月13日(本日)

### 第2回検討会

- 論点、課題の整理
- 課題解決に向けた方針の検討(先進事例の紹介、取り組むべき事業の検討など)

3月頃～

### 第3～4回検討会

- 本検討会における議論の整理
- 短、中長期的なプロジェクト(案)のとりまとめ